

Work like iron

産業に、社会に役立つ、鉄のような人材に。

関包スチール株式会社
<http://www.kanpoh.co.jp>

本 社

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-6-21
TEL : 06-6449-8811 FAX : 06-6459-4665

東京本社

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7八重洲ファーストフィナンシャルビル18F
TEL : 03-6225-2187 FAX : 03-6225-2188

関包スチール株式会社

入 社 案 内

会社の強みを知る。

かつて「鉄は国家なり」や「産業の米」と例えられたほど、鉄は暮らしに欠かせない存在です。

私たち関包スチールは、そんな鉄を需要家のオーダーに基づいて加工・販売する役割と、建築用鋼製下地材などの鉄鋼製品をメーカーとして製造・販売する役割の両方を担い、いずれも国内トップクラスの地位を築いています。

なぜ、私たちが支持されるのか、その理由をご説明します。

HISTORY

創業

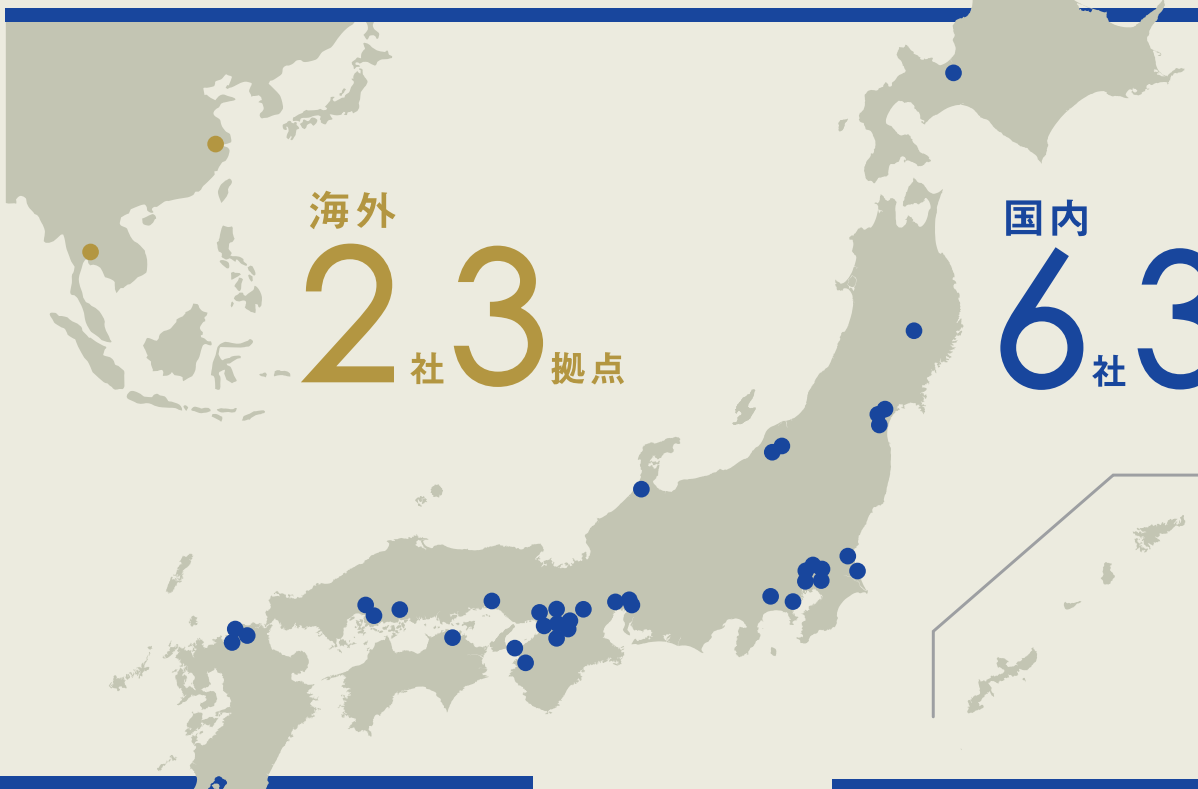
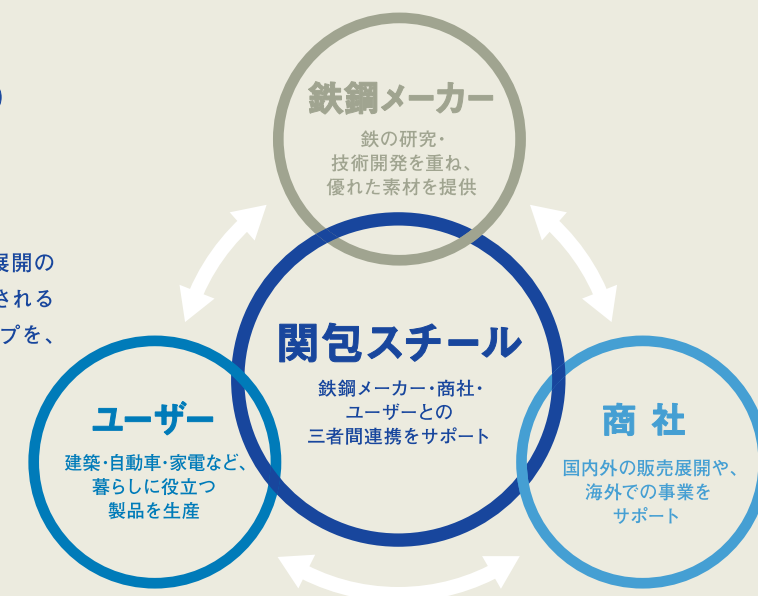
1948年

会社選びの基準として、設立年数をあげられる方も多いはず。関包スチールは、1948年の創業以来、長きにわたり日本の産業とともに成長し続けています。

PARTNERSHIP

事業を支える三者と連携

素材の提供を担う「鉄鋼メーカー」、販売や事業展開のサポートを担う「商社」、私たちの製品を必要とされる「ユーザー」。これら三者との深いパートナーシップを、事業のバックボーンとしています。



GROUP NETWORK

グループ企業数

これまで鋼板の加工・販売と、各種鉄鋼製品のメーカーとして成長してきた私たちは、自動車産業の拠点である九州・中部・東北にもグループの工場を構えるなど、全国38カ所に拠点を設けています。また、中国とタイにも進出。グローバルに事業を展開しています。



EMPLOYMENT

グループ社員数

979名

※2018年4月1日現在

入社した理由は？

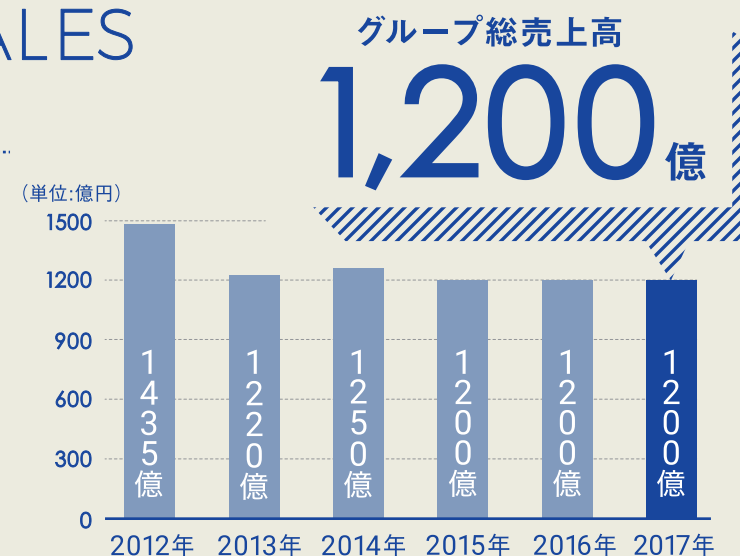
働く社員に入社理由を尋ねたところ、「安定しているから」と答えた社員が80%を超えました。安心できる環境で、長く成長を続けられる。これも会社の強みの一つです。



AMOUNT OF SALES

安定の収益

2017年3月期、グループ総売上高で1,200億円。増減こそあるものの、ここ数年安定して収益を上げています。現状に満足せず、技術力・開発力の強化に取り組み、さらなる売上強化を図ります。



BUSINESS FLOW

加工業 × メーカー業「2つの役割」を担う

関包スチールが長年にわたって成長できている理由。それは、「コイルセンター」で加工・製品化を行う役割に加え、最終製品にまで自社で仕上げる「メーカー」としての機能を担い、常に鉄の可能性を追求しているからです。その結果、様々な分野で存在感を発揮しています。



鉄鋼メーカー



原コイルと呼ばれるロール状のコイルや鋼板を生産します。

加工業

コイルセンター
加工量

業界
最大手

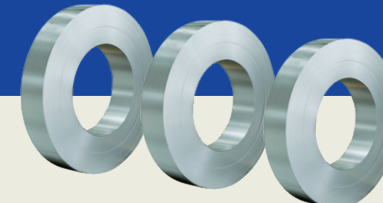
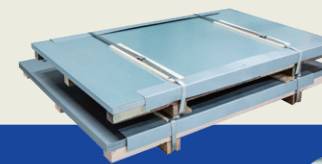
メーカー業

SHARE 薄板国内取扱量

国内シェア
1位

現在、日本国内に流通する薄板の量は年間で約1,200万トン。なんと、その約1/10の約130万トンを私たちが加工しています。その加工量は、国内で1位のシェアを占めます。

130万t
1,200万t
約 $\frac{1}{10}$



事業の 魅力を知る。

POINT

1 日本のモノづくりを支える

鉄は加工しやすく、大変優れた機能性を備えた素材です。その鉄を、需要家のオーダーに基づいて加工する役割を担っています。卓越した技術で加工した製品は、例えば自動車産業などで役立っています。

2 事業内容の多様性

オーダーを受けて鉄を加工するスリットコイルや鋼板に加え、鉄製の建築材料や金属バンドのベ어링フープなど独自開発製品を展開するなど、様々な方向に事業を展開しています。

3 高い技術力と商品開発力

関包スチールが多様な事業を展開できる理由、それは創業以来培ってきた高い技術力と時代に合わせて進化させてきた商品開発力。ネットワークしている各社からも高い信頼と期待を受けています。

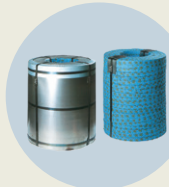
建築資材 鋼製下地材

建築現場で欠かせない鋼製下地材。最終製品として大量生産を行っています。



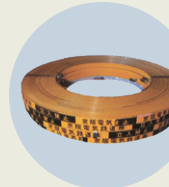
ベ어링フープ

鉄鋼、金属や紙などを梱包する金属バンド。そのうちのベ어링フープでトップシェアを獲得しています。



プリントスチール

標識広告用として用いられるテープ。国内では私たちが生産しています。



パレットラック

耐震性、安全性を重視したパレットラック。日本国内で一貫生産できる体制を整えています。



世界トップクラスの
加工技術を活かし、
様々な生産分野に素材を提供。



建設業界

ビル・病院・学校等を構成する建築資材として使われています。



自動車産業

大手自動車メーカーで重要な部品に生まれ変わります。



農業

ビニールハウスや農機具などの鋼板加工材として使われています。



生活分野

流し台や食器棚、温水器などの材料に使われます。



電化製品

冷蔵庫に加えてレンジ、洗濯機などにも活用されます。



OA機器

パソコンやタブレットの各種部品として使われます。

先輩社員の話聞く。

鉄のような人材を目指し、イキイキと働く先輩たち。
そんな先輩たちに仕事のやりがいについて聞いてみました。

関包スチールの強みを活かし、 さらなる顧客獲得を目指す。

清水 生也

大阪営業部／2013年入社

学生の頃から鉄鋼業界とモノづくりについて興味がありました。当社は、コイルセンターとして、またメーカーとして、一次加工から最終製品まで幅広く様々な業界に貢献している点に魅力を感じました。現在営業として、滋賀・北陸方面の鉄鋼営業と、問屋や商社、工事店への建材営業を担当しています。販売が伸びないときに難しさも感じますが、逆に計画通り或いは想定外の注文を頂いたときはやりがいを感じます。大手鉄鋼メーカーとの連携により、材料を安定的に供給できることは、我々の大きな武器です。チームワークを大事にする会社ですので皆と切磋琢磨しながら、強い戦力になるべくこれからも毎月1件以上の新規獲得を目指して頑張ります。



最適な形で納品するために。 生産管理から営業まで対応。

宮下 智志

和歌山工場 生産管理部／2010年入社

学生時代より製造業に興味があり、関包スチールで製造に携わることで、汎用性の高い鉄について知ることができる上に、様々な業界と繋がることができると感じました。現在、和歌山工場で受注から工場への作業指示、運送手配までの管理業務に加えてお客様との打合わせなど、営業面も併せて担当しています。担当部門はすべて受注生産で日々多種多様な製品を生産するというバリエーションに富んだ仕事をしております。そんな中で生産性や納期対応など色々な問題をクリアし、効率の良い生産計画を立てていくのが難しい点ですが、既成概念に囚われることなく新しいことに挑戦しながら「より良い製品」を目指し頑張っております。



専門知識を身に付けて、 もっと頼りにされる存在へ。

赤銅 里子

管理部／2011年入社

鉄が社会に役立つ点も魅力があったのですが、それよりも会社説明会や面接で出会った社員の方の雰囲気がとても良く、この人たちと一緒に働きたいと思い志望しました。現在、管理部で給与計算や保険・労務関係の手続き、役員スケジュールの取り纏めなど、幅広い仕事をさせて頂いております。給与や労務手続きに関しては、専門的な手続きも多いため難しい点もありますが、社員一人ひとりと直接やりとりできるので、やりがいを実感できます。これからは、どんなことでも柔軟に対応できる人材を目指します。そのためにも、上司・諸先輩の指導を仰ぎながら知識と経験を深め、スムーズに業務が遂行できるよう日々成長したいと思います。



教育制度

【新入社員研修】

- ①社会人としての心構え、ビジネスマナーの講習を外部セミナーを併用しながら行います。また、グループワークを通してコミュニケーションやチームワーク向上の研修を行います。
- ②実務研修、技術研修を行います。

【新入社員フォローアップ研修(入社1年後)】

1年間の研修内容の確認として外部研修に参加します。

【技術者研修】

技術力の向上と専門知識の習得を目的として、技術者研修を行います。

【安全研修】

安全体感研修を含め、徹底した安全教育を行います。



【その他研修】

コンサルティング会社主催のセミナーに随時参加し、レベルアップを図ります。

福利厚生

【借上社宅制度】



採用、人事異動の時は必要に応じて会社が借上げた住宅を貸与します。

【社会保険】



健康、厚生、労災、雇用の各種保険を完備しています。

【雇用制度】



定年退職後の再雇用制度
定年後も引き続き勤務していただける制度です。

【女性活躍推進企業】



女性が長く活躍し続けられる環境を目指し、行動計画書を作成しています。

【退職金制度】



確定給付年金、勤続2年以上から退職金が給付されます。

【有給休暇】



入社1年目は半年後10日間付与されます。

【マタニティ休暇・育児休暇】



出産前後それぞれ最大14週間の休暇が認められます。また、出産後1年間(最大1年半)の休暇が認められます。

【慶弔見舞金】



結婚、出産等会社からお祝い金(お見舞金)が給付されます。

【全国各地のリゾート施設】



リゾートトラスト他のリゾート施設が格安で利用できます。

《会社概要》

PROFILE

企業データ

社名	関包スチール株式会社
設立	昭和23年2月
資本金	1億円
年商	680億円(グループ1200億円)
代表者	谷本 隆広
社員数	531名(グループ979名)(2018年4月1日現在)
事業所	本社(大阪／東京)
工場	大阪／仙台／鹿島／新潟／滋賀／高槻／和歌山／広島／福岡
営業所	名古屋／大阪／九州／姫路／金沢／バンコク
事業内容	鋼板・鋼帯の加工、販売 鉄鋼製品の製造、販売
主要製品	金属梱包資材(ベアリングフープ／プロテクター) 建築用鋼製下地材(天井／壁／フリーアングル) 鋼帯(スリットコイル)、鋼板 物流機器(鋼製家具、ラック)、店舗什器(陳列棚)
加盟団体	関西コイルセンター工業会／全国コイルセンター工業組合／関西経済連合会／関西経済同友会／日本建築材料協会／日本鋼製下地材工業会 大阪鉄鋼流通協会
取引銀行	三井住友銀行／商工中金／みずほ銀行／関西アーバン銀行／三菱東京UFJ銀行
関連会社	株式会社エス・エス・シー／エス・エス・シー九州株式会社／新潟関包スチール株式会社／和翔商事株式会社／明興関包スチール株式会社 株式会社サンユー Kanpoh Engineering(Thailand)Ltd.／関包(上海)国際貿易有限公司
沿革	昭和23年 大阪市福島区野田において「関西包装資材工業株式会社」設立。 昭和39年 和歌山工場を新設。 昭和44年 関包スチール工業(株)を鹿島に設立→平成24年 関包スチールに合併。 昭和45年 「関包スチール(株)」に改称、高槻工場を新設。 昭和47年 広島営業所を開設。→昭和54年 広島海田工場、平成7年 広島大和工場設立。 昭和54年 新潟に鋼板センター設立(経営権譲り受け)→平成6年「新潟関包スチール」に改称。 昭和56年 仙台工場を開設。 昭和61年 福岡工場を開設。 昭和62年 愛知県に(株)エス・エス・シーを設立。 昭和63年 大阪市此花区にティ・エス・アイ(株)を設立。→平成22年 関包スチールに合併。 平成10年 和歌山雑賀崎工場設立。 平成18年 福岡県にエス・エス・シー九州株式会社を設立。バンコック事務所をタイ、バンコク市内に開設。 平成21年 Kanpoh Engineering(Thailand)Ltd.をタイ、バンコク市内に設立。 平成24年4月 関包(上海)国際貿易有限公司を設立。 平成24年7月 岩手県に株式会社エス・エス・シー東北工場を設立。 平成24年8月 姫路営業所を設立。 平成26年 滋賀工場を設立。 平成30年 金沢営業所を設立。

RECRUIT

採用データ

募集職種	総合職／一般職
採用人数	20名(総合職15名／一般職5名)
採用学部	全学部全学科
初任給	総合職／大卒230,000円 一般職／大卒190,000円
勤務地	総合職／大阪および全国の各事務所 一般職／大阪および全国希望の事業所
勤務時間	各事業所により異なります。実働(7.5時間) 例(本社・大阪／9:00～17:20 浦安／8:30～17:00)
諸手当	通勤手当、皆勤手当、給食手当 調整手当 など、
昇給昇格	年1回
賞与	年2回
休日休暇	週休2日制※当社カレンダーによって、各事業所により異なります。 (土)日祝、GW、夏季、年末年始、有給、慶弔(年間休日／115日)
福利厚生	借上社宅制度、社会保険、雇用制度、女性活躍推進企業、退職金制度、有給休暇、マタニティ休暇・育児制度、慶弔見舞金、全国各地のリゾート施設
応募方法	リクナビ、マイナビ、または当社ホームページよりエントリーしてください。

お問い合わせは
関包スチール株式会社 人事部 採用担当 まで
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-6-21

TEL 06-6449-8811
E-mail recruit@kanpoh.co.jp
URL http://www.kanpoh.co.jp/



本社
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-6-21



東京本社
〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7
八重洲ファーストフィナンシャルビル18F

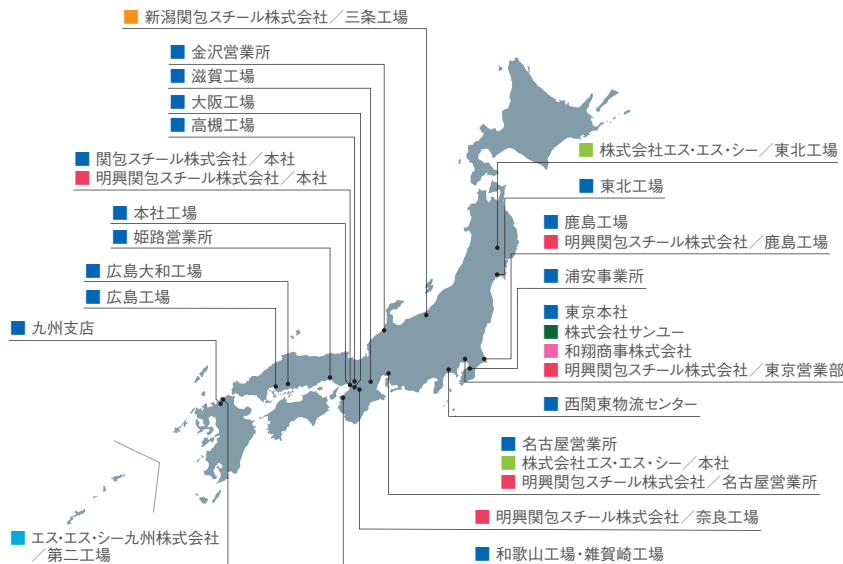
OS1811-1500

GROUP & NETWORK

各拠点・グループ情報

国内、そしてワールドワイドな展開。
KANPOHグループの
ネットワークが広がります。

これまで鋼板の加工・販売と、各種鉄鋼製品のメーカーとして成長続けてきた私たちは、自動車産業の拠点である九州・中部・東北にもグループの工場を構えるなど、全国38ヵ所に拠点を設けています。また、中国とタイにも進出。これからも国内外グループパワーを生かし、グローバルでダイナミックな活躍を目指していきます。



関包スチール株式会社

本社	〒550-0004 大阪市西区靱本町1-6-21 TEL. 06-6449-8811(代)
東京本社	〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル18F TEL. 03-6225-2187
九州支店	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東3-1-10 GSI博多駅東ビル6F TEL. 092-433-7071
本社工場	〒553-0005 大阪市福島区野田3-7-30 TEL. 06-6461-7483(代)
大阪工場	〒554-0052 大阪市此花区常吉1-1-74 TEL. 06-6465-0161(代)
和歌山工場	〒640-8453 和歌山市木の本565-3 TEL. 073-455-3271(代)
和歌山雑賀崎工場	〒641-0062 和歌山市雑賀崎2017-34(金属団地内) TEL. 073-448-1171(代)
高槻工場	〒569-0036 高槻市辻子3-2-2 TEL. 072-674-4120(代)
滋賀工場	〒520-3306 滋賀県甲賀市甲南町柑子2002-23 TEL. 0748-86-8066(代)
広島工場	〒736-0055 広島県安芸郡海田町南明神町2-43 TEL. 082-823-4511(代)
広島大和工場	〒729-1406 広島県三原市大和町下徳良日ノ口山655-2 TEL. 08473-3-1311(代)
鹿島工場	〒314-0012 茨城県鹿嶋市平井2270 TEL. 0299-82-3431(代)
東北工場	〒989-2421 宮城県岩沼市下野郷字中野馬場34-42 TEL. 0223-24-3821(代)
浦安事業所	〒279-0032 千葉県浦安市千鳥15-30 TEL. 047-304-2050(代)
西関東物流センター	〒259-1146 神奈川県伊勢原市鈴川23番地 TEL. 0463-93-2561
名古屋営業所	〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄1-12-17 富士フィルム名古屋ビル10F TEL. 052-265-8623(代)
姫路営業所	〒670-0964 兵庫県姫路市豊沢町135 姫路大同生命ビル11F 022号室 TEL. 079-286-8770
金沢営業所	〒920-0853 石川県金沢市本町2-15-1 ボルテ金沢7F TEL. 076-221-7033(代)
バンコク事務所	〒10330 93/1GPF Witthayu Tower B.9th Floor, Room901,Wireless Rd.Lumpini.Pathumwan.Bangkok, 10330 Thailand TEL. 66-2-253-2185

新潟関包スチール株式会社

三条工場 〒955-0002 新潟県三条市柳川新田922番地
TEL. 0256-38-0111(代)

株式会社エス・エス・シー

本社 〒490-1445 愛知県海部郡飛島村金岡4番地
TEL. 0567-55-2250(代)

東北工場 〒023-1101 岩手県奥州市江刺区岩谷堂字柳沢94-4
TEL. 0197-31-1011

エス・エス・シー九州株式会社

〒811-2502 福岡県糟屋郡久山町大字山田2305-1
(登り尾工業団地内)
TEL. 092-931-9277

第二工場 〒811-2502 福岡県糟屋郡久山町大字山田2396-161
(登り尾工業団地内)
TEL. 092-931-6543

明興関包スチール株式会社

本社 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-6-21
TEL. 06-6449-8811(代)

奈良工場 〒639-1031 奈良県大和郡山市今国府町603
TEL. 0743-56-0701(代)

鹿島工場 〒314-0012 茨城県鹿嶋市平井2276-3
TEL. 0299-94-5271

東京営業部 〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7
八重洲ファーストフィナンシャルビル18F
TEL. 03-6225-2618

名古屋営業所 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄1-12-17
富士フィルム名古屋ビル10F
TEL. 052-265-8635

Kanpoh Engineering(thailand) Ltd.

〒10330 93/1GPF Wittayu Tower B.9th Floor,
Room 901,Wireless Rd.Lumpini.Pathumwan.Bangkok,
10330 Thailand
TEL. 66-2-253-2185

関包(上海)国際貿易有限公司

〒201199 上海市闵行区园文路28号 金源中心1917室
TEL. 86-21-5208-0242

株式会社サンユー

〒160-0015 東京都新宿区大京町23-3 四谷オーキッドビル3F
TEL. 03-4334-9350(代)

和翔商事株式会社

〒103-0032 東京都中央区八丁堀2-23-1 エンパイヤビル4F
TEL. 03-5566-1011